

作成日：2009年12月07日  
改訂日：2016年04月21日

## 安全データシート

---

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：セメダイン バスコークN白

製品番号(SDS NO)：GJ1855-10

供給者情報詳細

供給者：セメダイン株式会社

住所：東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー

担当部署：環境安全衛生部

電話番号：03-6421-7413

FAX：03-6421-7416

緊急連絡先電話：03-6421-7413

---

### 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 2

環境有害性

水生環境有害性(急性)：区分 2

水生環境有害性(長期間)：区分 3

(注)記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報

強い眼刺激

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に有害

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：

混合物

化学的特定名：シリコーン樹脂系シーリング材

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
シリコーン樹脂	25-35	195158-81-7	非公開/未登録
無機質充填材	50-60	非公開/未登録	非公開/未登録
酸化チタン(IV)	0.1-1	13463-67-7	(1)-558

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

酸化チタン(IV)

## 4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

症状があわられる場合には、医療機関で診察を受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

無理に吐かせないこと。

症状が現れる場合には、医療機関で診察を受ける。

## 5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は耐アルコール泡、粉末、炭酸ガス、水スプレーを使用すること。

特有の危険有害性

燃焼生成物への曝露は健康に害を及ぼす可能性がある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。

安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。

区域より退避させること。

消火を行う者の保護

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

皮膚に触れたり眼に入らないように、不浸透性手袋などの保護具を着用する。

### 環境に対する注意事項

環境への放出は必ず避けなければならない。

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。

汚染された洗いを保持し、処理する。

流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量にこぼれた場合、防液堤を築く等の適切な封じ込め手段を講じて、広がらないようにすること。

防液堤に使用した資材をポンプで吸い上げることができる場合には、回収した物質を適切な容器内に保管する。

漏洩物質を適切な吸収剤で除去する。

本物質を放出および廃棄処理する際、および、その浄化に使用した資材や品目を廃棄する際には、地方自治体や国の規制が適用されることがある。どの規制が適用されるかを決定する必要がある。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/ミストの吸入を避けること。

#### 局所排気、全体換気

適切な換気装置の下でのみ使用する。

#### 安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

皮膚や衣類につけない。

飲み込まない。

眼との接触を避ける。

十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

水に近づけないようにする。

防湿する。

漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最低限にするよう注意する。

### 配合禁忌等、安全な保管条件

#### 適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

適切なラベルのついた容器に入れておく。

各国の規定に従って保管する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

#### 許容濃度

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会(2013) 0.3mg-ナノ粒子/m<sup>3</sup>

(酸化チタン(IV))

ACGIH(1992) TWA: 10mg/m<sup>3</sup> (下気道刺激)

**ばく露防止****設備対策**

適切な換気のある場所では取扱う。

**保護具****呼吸用保護具**

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

**手の保護具**

保護手袋を着用する。

**眼の保護具**

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

**皮膚及び身体への保護具**

保護衣を着用する。

**衛生対策**

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

作業場の近くに目の洗浄装置と安全シャワーが設置されていることを確認する。

汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。

これらの注意事項は、室温で取扱う場合に適用される。

室温より高温で使用する場合やエアゾール/スプレー用途には、それ以外の注意事項も適用されること  
がある。

---

**9. 物理的及び化学的性質**

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

**物理的状態**

形状：ペースト状

色：白色

引火点：(セタ密閉式)60°C

比重/密度: 1.45g/cm<sup>3</sup>

---

**10. 安定性及び反応性****化学的安定性**

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

**危険有害反応可能性**

高温で使用すると、非常に有害な化合物を生成する可能性がある。

強い酸化剤と反応することがある。

水分または湿気との接触により有害な分解生成物が生成される。

高温で有害な分解生成物が生成される。

**避けるべき条件**

湿気への暴露

**混触危険物質**

酸化剤、水

---

**11. 有害性情報**

毒性学的影響に関する情報

**局所効果**

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

ラビット 軽度の刺激性 (IUCLID, 2000)

発がん性

(酸化チタン(IV))

IARC-Gr.2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(酸化チタン(IV))

ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会-2B : 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

---

12. 環境影響情報

水溶解度

(酸化チタン(IV))

溶けない (HSDB, 2004)

---

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では、特別管理産業廃棄物の廃油と廃プラスチック類の混合物で、その処理については認可を受けた専門の処理業者に委託する。使い切った後の容器は、接着剤が乾燥固化していれば、産業廃棄物の金属くずと廃プラスチック類の混合物になる。

---

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

特別規定番号 : 223; 274; A3

特別の安全対策

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。

消防法、船舶安全法などの法令の定めるところに従う

MARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Z類)

酸化チタン(IV)

---

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

酸化チタン(IV)

消防法

可燃性固体類(届出数量 3,000kg)

---

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN  
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)  
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)  
2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>  
JIS Z 7253 (2012年)  
Supplier's data/information

責任の限定について

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

十分な情報が得られなかった成分については、全ての項目を分類できないとしております。

2016年6月1日改正の労働安全衛生法に則して作成されたものです。ただし、有害性情報につきましては、現時点における弊社の最善の知識をもって、通常可能な範囲で調査した結果に基づくものです。